

事業番号	10 02 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
		実施期間	S33 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性		②県民一人当たり家計可処分所得			⑥就業率			
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			

### 1 現状と課題

長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。林業大学校においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。

### 2 事業目的

森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのために、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①林業大学校における次代の担い手の育成
- ・適正な学校運営
  - ・耐震性を有していない旧男子寮棟の除却、除却後の跡地の外構工事及び渡り廊下の建築に着手
- ②林業総合センターの試験研究・開発の促進
- ・試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カラマツの新製品開発
  - ・マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培の試験・研究
  - ・成長に優れたカラマツ等コンテナ苗木等の開発 など

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	林業大学校卒業生で就業した者の林業関係分野への就業率	%	90.0	88.9	↘	90.0	↗	80.0	達成 林業大学校の学生が林業の担い手として、その知識等が活かせるための指標として過去の実績を基に設定
②	林業総合センターの研究成果の発表件数	件	72	80	↗	98	↗	80	達成 林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標として過去の実績を基に設定
③	体験学習の森の講座定員充足率	%	89.0	94.0	↗	92.0	↘	85.0	達成 県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るための指標として過去の実績を基に設定

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	56,626	128,169	△ 27,345	157,450	73,528	126,668	83.9
R3年度	472,716	231,540	24,318	728,574	675,493	183,977	86.9
R2年度	0	628,646	△ 28,173	600,473	563,005	416,916	86.9

事業番号	10 02 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課		

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>① 林業大学校における次代の担い手の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に新入生を20名迎え、カリキュラムに沿った適正な学校運営を実施</li> <li>令和3年度に男子寮の改築工事を実施し、令和4年度に旧男子寮棟の除却工事に着手し、令和5年度に完了予定</li> <li>除却後の跡地の外構工事及び渡り廊下の建築に着手</li> </ul> <p><b>② 林業総合センターの試験研究・開発の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験研究装置を活用した高品質・高強度な大径カマツ材の新製品開発や改質処理（熱処理）によるアカマツ材の新たな製品開発などを実施</li> <li>マツタケ菌感染苗木によるマツタケ人工栽培技術やナメコの消費拡大に向けたナメコの味の見える化などの試験開発を実施</li> <li>植栽後に健全に成長する良質なコンテナ苗等の育苗技術や多発する森林病虫獣害への対策技術などの研究開発を実施</li> </ul>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	林業大学校卒業生で就業した者の林業関係分野への就業率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	達成
実践的な教育としてのトップガン研修やインターシップ等の県の取組の結果、林業関係分野への就職のうち半数が民間林業事業体へ就職するなど、林業関係分野へ就職する卒業生が多かったことから、令和4年度は目標値の80%を上回った。							
指標②	林業総合センターの研究開発の発表件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
研究発表や機関紙への投稿等の機会を捉え積極的に研究成果を発表した結果、目標値の80件を上回った。							
指標③	体験学習の森の講座定員充足率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
HP、新聞、広報誌等の媒体で講座のPRを行ったことや、過去の参加者の意見を踏まえて講座内容の改善等を行った結果、新たな関心と呼び寄せることができ、充足率は目標値の85.0%を上回った。							

## 8 今後の事業の方向性

<p><b>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林業大学校においては、実践的な教育を通じて質の高い人材の育成を図ってきており、引き続き林業分野を目指す学生の確保を図るため、学校の魅力を高めていくことが必要である</li> <li>試験研究で得られた成果を研究発表等の機会を通じて普及を図ることで、関連産業や山村の活性化に貢献したが、試験研究に一定の期間を要する課題や新たな課題に対応するためには、来年度以降も引き続き試験研究・開発を進める必要がある</li> </ul>
<p><b>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業などの実践的なカリキュラムを実施することにより、専門的な知識・技術を身に付けた指導的な役割を果たす人材を育成していく</li> <li>森林を育てる基礎となる優良な苗木の生産、多様な森林の育成管理技術、多発する森林病虫獣害への対策、新たな技術を活用した高品質木材の開発などに関する試験研究及び技術指導を引き続き推進するとともに、研究発表等の機会を通じて成果の発信を行っていく</li> </ul>

事業番号	10 02 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	<b>林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業</b>		部局	林務部	課・室
					信州の木活用課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>林業大学校関係事業</b>		365,483 千円	117,297 千円	73,747 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業大学校費	直接	林業の担い手確保のため、高性能林業機械やタブレット端末といった先端技術を導入した専門的、体系的な授業の実施 【林業大学校卒業生20名（うち林業分野への就職18名 90%）】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>研究開発の推進及び普及関係事業</b>		51,433 千円	66,680 千円	52,921 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を実施 林業普及指導員研修実施回数：7回		
2	林業総合センター管理費	直接	・林業総合センター施設の管理運営業務の実施 ・ホームページの充実 ホームページアクセス件数：65万件		
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を実施 研究成果の発表件数：98件		
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座等を開催 森林教室：15回、森の勉強会1回、森林体験講座9回		